

第88期 中間株主通信

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



Produce
The Future



株式会社 GSIクレオス

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第88期中間期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長

中島 浩二



第88期中間期の業績

当中間期におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に企業収益は堅調に推移し、緩やかな回復基調が続いておりますが、欧米の政治的リスクやアジアにおける地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当中間期の業績は、売上高は、前年同期比628百万円、1.0%減収の65,372百万円、売上総利益は、前年同期比139百万円、2.1%減益の6,477百万円、営業利益は、前年同期比182百万円、31.3%増益の766百万円、経常利益は、前年同期比550百万円、228.0%増益の792

百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比24百万円、5.4%増益の485百万円となりました。

第88期中間期業績

売上高	65,372百万円	前年同期比	△1.0%
営業利益	766百万円	前年同期比	31.3%
経常利益	792百万円	前年同期比	228.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	485百万円	前年同期比	5.4%

通期の見通し

依然として先行き不透明な経営環境が続くと思われていますが、当社グループは、各事業の採算とリスクの管理を徹底しながら、収益性の向上と海外事業の拡大を図り、収益基盤の強化と財務体質の改善を進めてまいります。

また、2020年を見据えたビジョン「ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する。」を実現すべく、持続的な成長に向けて『世界で稼ぐ力』をさらに強化してまいります。

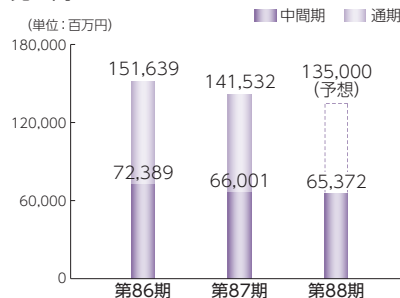
※ニッチな分野とは、メーカーが直接攻めにくく、他商社の追随を許さない、当社グループが得意としている商材や事業をいいます。

第88期通期見通し

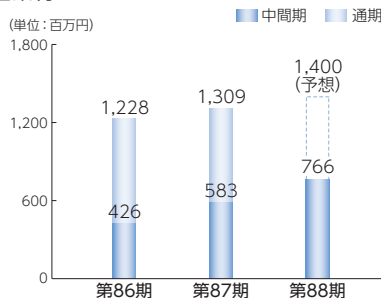
売上高	135,000百万円
営業利益	1,400百万円
経常利益	1,200百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	800百万円

業績の推移(連結)

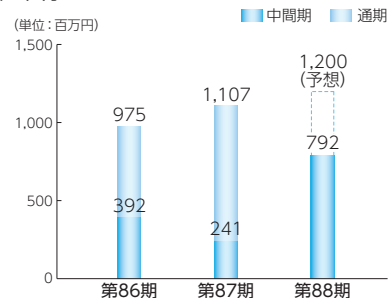
売上高



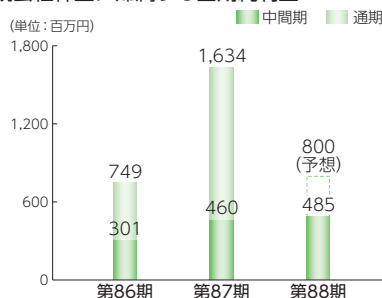
営業利益



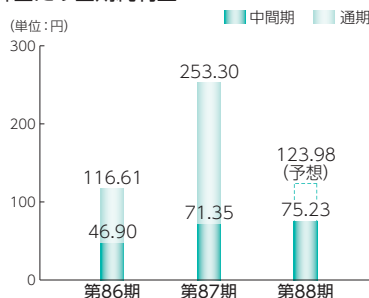
経常利益



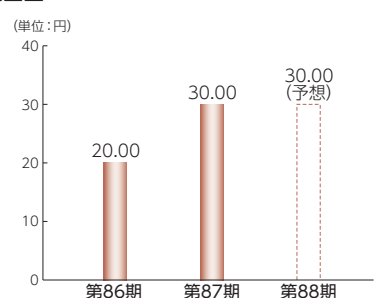
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益*



配当金*



*1株当たり当期純利益および配当金は、第86期の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しております(裏表紙に記載の「株式併合および単元株式数の変更について」をご参照ください)。

セグメント別概況

繊維事業

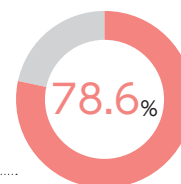


主要商品：

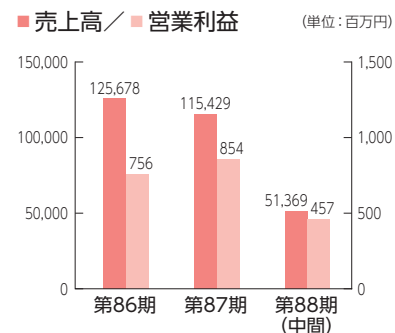
繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア 他

売上高	51,369百万円	
	前年同期比	△4.9%
営業利益	457百万円	
	前年同期比	6.8%

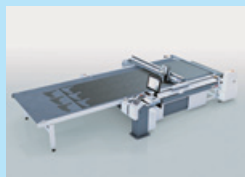
売上構成比



- 企画提案型の婦人ファンデーションは伸長し、インナー用途の機能性の高い原糸および生地取引は前年並みに推移しました。また、肌着、靴下やパンスト等の実用衣料は平成28年9月末の事業譲渡の影響もあり、売上高が大きく減少しました。
- アパレル用生地の米国向け輸出取引は伸長し、アウター製品のOEM取引は前年並みに推移しました。



工業製品事業

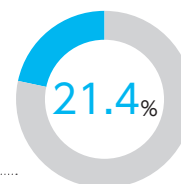


主要商品：

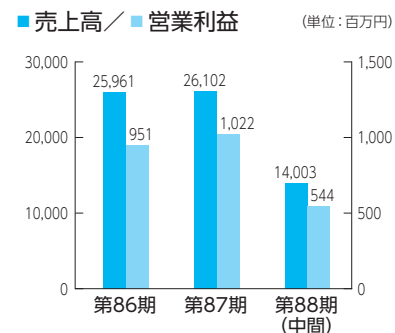
化学品、機械装置・資材、
ホビー・生活関連品 他

売上高	14,003百万円	
	前年同期比	16.7%
営業利益	544百万円	
	前年同期比	48.9%

売上構成比



- 米国における半導体用途を中心とする化学品の取引が大きく増加しました。また、欧米やアジア向けの塗料の添加剤が伸長し、国内のフィルム取引も増加しました。
- ホビー関連商品は、前年並みに推移しました。
- ナノテクノロジー事業は、カップ積層型カーボンナノチューブ「カルベール®」の特徴を活かし、複合材料、塗料などの分野において事業化に取り組んでいます。



「国際福祉機器展」に出展 ー繊維事業における介護市場への参入ー

本年9月に東京ビッグサイトで開催された、アジア最大級の福祉機器総合展である「国際福祉機器展」に出展しました。

当社が有する素材調達力、素材加工力や製造ノウハウを用いて、介護分野向けの抗菌機能を持つパジャマや数回の洗濯が可能な紙製の衣料品（ジーンズ・エプロン・ブラジャー・ショーツ等）などを展示し、多くのお客様にお集まりいただきました。

繊維事業の総合力を発揮し、素材から製品までのあらゆるニーズにきめ細やかに対応することで、今後も拡大が見込まれる介護市場に挑戦してまいります。



展示ブースの様子

「日本国際包装機械展（JAPAN PACK 2017）」に初出展 ー包装商材に関する多様なニーズへの提案力をアピールー

本年10月に東京ビッグサイトで開催された、アジア最大級の包装総合展である「日本国際包装機械展（JAPAN PACK 2017）」に初出展しました。

当社グループで取り扱う食品・日用品向け包装フィルムやフィルム用紙管などを取り揃え、包装商材に関する多様なニーズへの提案力をアピールしました。

なかでも、植物由来の自動車部品包装用防錆フィルムは、包装作業の環境や人体への影響に配慮した画期的な防錆フィルムとして、多くの来場者の注目を集めました。



展示ブースの様子



植物由来の自動車部品包装用防錆フィルム

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期	前期	
	平成29年9月30日現在	平成29年3月31日現在	
資産の部	流動資産	49,690	54,308
	固定資産	11,998	11,168
	有形固定資産	4,723	4,237
	無形固定資産	679	742
	投資その他の資産	6,596	6,189
資産合計	61,689	65,476	
負債の部	流動負債	41,884	46,292
	固定負債	1,333	1,220
負債合計	43,217	47,513	
純資産の部	株主資本	17,663	17,346
	その他の包括利益累計額	808	616
純資産合計	18,471	17,963	
負債純資産合計	61,689	65,476	

連結貸借対照表(要旨)のポイント

資産

売上債権の減少等により、前期末比3,787百万円の減少

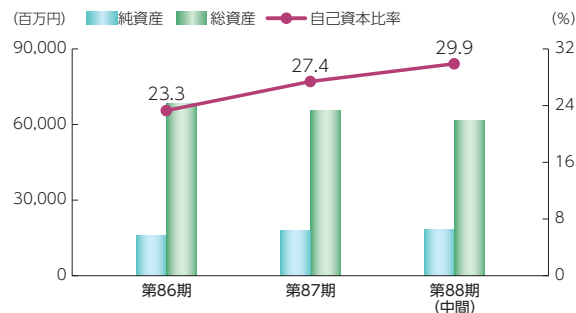
負債

仕入債務の減少等により、前期末比4,295百万円の減少

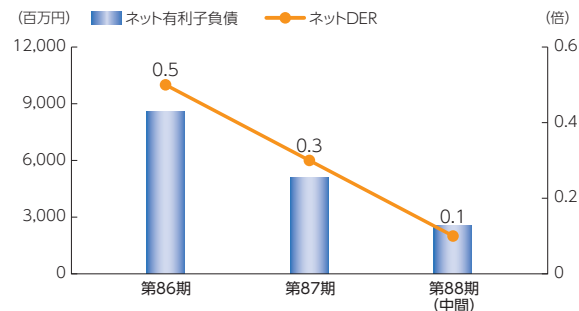
純資産

親会社株主に帰属する中間純利益による株主資本の増加等により、前期末比508百万円の増加

純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



当社ホームページ(IR情報ページ)のご案内

当社ホームページのIR情報のページでは、決算短信や有価証券報告書等のIR情報をご覧いただけます。より詳細な情報については、以下のアドレスにアクセスくださいますようお願いいたします。

<http://www.gsi.co.jp/ir>

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

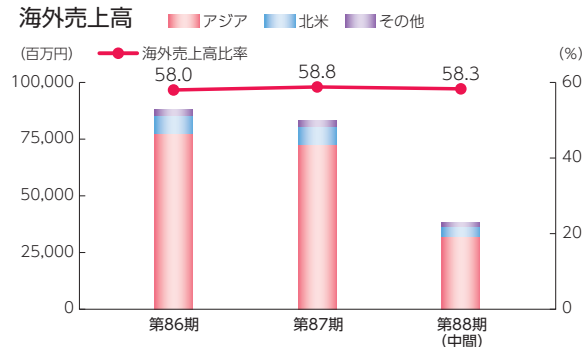
科目	当中間期	前中間期
	平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
売上高	65,372	66,001
売上原価	58,895	59,384
売上総利益	6,477	6,617
販売費及び一般管理費	5,710	6,033
営業利益	766	583
営業外収益	150	98
営業外費用	124	441
経常利益	792	241
特別利益	2	310
特別損失	27	109
税金等調整前中間純利益	767	442
法人税等合計	282	△17
親会社株主に帰属する中間純利益	485	460

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

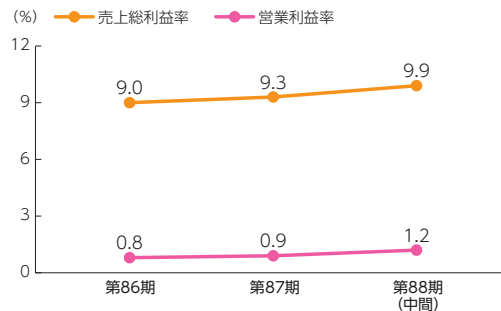
(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	3,221	2,832
投資活動による キャッシュ・フロー	△555	1,142
財務活動による キャッシュ・フロー	△63	△309
現金及び現金同等物の 中間期末残高	14,942	12,560

海外売上高



売上総利益率(%) / 営業利益率(%)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の減少等により、3,221百万円の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出等により、555百万円の減少

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払い等により、63百万円の減少

会社概要 (平成29年9月30日現在)

会社の概要

会社名	株式会社GSIクレオス
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
設立	1931年10月31日
資本金	71億86百万円
従業員数	572名(連結)
拠点	国内 7ヶ所 海外 17ヶ所
連結子会社	国内 8社 海外 7社
ホームページ	http://www.gsi.co.jp

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

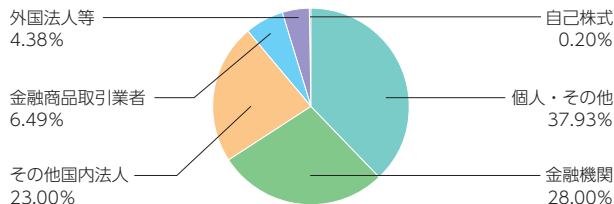
発行可能株式総数	200,000,000株 (平成29年10月1日付株式併合後 20,000,000株)
発行済株式の総数	64,649,715株 (平成29年10月1日付株式併合後 6,464,971株)
株主数	6,559名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.45
株式会社みずほ銀行	3,182	4.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.92
日本証券金融株式会社	2,590	4.01
日本生命保険相互会社	2,328	3.61
東レ株式会社	1,982	3.07
株式会社SBI証券	931	1.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	925	1.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	924	1.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	898	1.39

(注) 持株比率については、自己株式(128,790株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別株式数の割合)



取締役・執行役員

取締役

代表取締役社長 社長執行役員	中島 浩二	<監査等委員>	
常務取締役 常務執行役員	松下 康彦	取締役	浅野 幹雄
常務取締役 常務執行役員	吉永 直明	社外取締役	金井 博芳
常務取締役 常務執行役員	中山 正輝	社外取締役	後藤 芳浩
取締役 執行役員	荒木 靖司	(注) 浅野幹雄は、常勤の監査等委員であります。	
取締役 執行役員	新美 一夫	執行役員	
取締役 執行役員	大西 文博	宮崎 晃一	大賀 浩司
社外取締役	岩田 紀治	松尾 慶彰	森田 雅彦
		西村 裕樹	鈴木 恵太

株式併合および単元株式数の変更について

当社は、平成29年10月1日をもって、以下のとおり株式併合および単元株式数の変更を行いました。

株式併合(普通株式) 10株→1株 単元株式数の変更 1,000株→100株

これにともなう当社株式の資産価値に変動はなく、株主の皆様による特段のお手続きの必要もございません。

株主メモ

証券コード	8101
上場証券取引所	東京
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
単元株式数	100株(平成29年10月1日より100株に変更いたしました。)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス http://www.gsi.co.jp/ir/notice (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

